

平成 21 年 4 月 15 日現在

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2006～2009
課題番号：18520070
研究課題名（和文） 大江匡房の思想研究

研究課題名（英文） A Study of ÔE MASAHUSA'S Thought

研究代表者

吉原 浩人(YOSHIHARA, Hiroto)
早稲田大学・文学学術院・教授
研究者番号：80230796

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学・思想史

キーワード：日本思想史・大江匡房・宗教思想・日本漢文学・中国古典籍・国際研究者交流・註釈

1. 研究計画の概要

本研究は、大江匡房の多数の著作のうち、特に思想方面の研究の基礎となるテキストの校訂と註釈を行い、その成果をもとに大江匡房の宗教思想や文学的営為を闡明することを、主な目的としている。また、匡房の全集ははまだ刊行されておらず、そのための基礎作業も、本研究のもう一つの目的となる。吉原は、大江匡房全集の願文を主に担当することに内定しており、『江都督納言願文集』全六巻（第四巻闕）の校訂は喫緊の課題である。

2. 研究の進捗状況

(1) 『江都督納言願文集』の校本を作成するための基礎作業として、平成20年度は、古鈔本として存在は知られていなかった身延文庫本巻一と、国立歴史民俗博物館本巻三・六を、吉原浩人編『古鈔本『江都督納言願文集』』（二松学舎大学21世紀COEプログラム、2009.3）として翻刻刊行した。

(2) 前年度に続き、大江匡房『江都督納言願文集』『本朝続文粹』『朝野群載』『本朝文集』など所載の一部作品について、本文校訂・読み下し・現代語訳・構造分析・註釈・解説・文献一覧からなる詳細な註釈を作成した。「白河院金字一切経供養願文」の詳註の公表は、その一端となるものである。

(3) 大江匡房の思想の源流を探るため、撰開期及び院政期の文人貴族における、天神信仰・勸学会と白居易の詩文の関係について考察した。

また大江匡房の思想を研究するためには、日本古代の「神」観念と習合思想について明らかにする必要があり、これらの方面についても解明を試みた。

(4) 平成20年5月、浙江工商大学日本文化研究所王勇教授とともに、中国浙江省天台山において、国際シンポジウムを主宰した。その成果は、『海を渡る天台文化』（勉誠出版 2008.12）として公刊した。

(5) 上記に関連する研究発表や講演を、中国・韓国・イタリア・日本の各地で行った。イタリアへの旅費は、科研費の補助を受けてのものである。その結果、別記の通り、論文4編、学会発表7件、編著書2冊を公表することができた。

3. 現在までの達成度

当初の計画以上に進展している。『江都督納言願文集』古鈔本の翻刻を公刊により、学界に対し大きな貢献をすることができた。平成20年度は、学会発表や講演、論文執筆もそれまでの2年間をはるかに上回るペースで行うことができたため、4年計画の3年目としては、十分な達成度といえよう。

4. 今後の研究の推進方策

今後は、室町期写本の六地藏寺本の校訂作業を進め、『江都督納言願文集』全巻のデータベース化を進める。さらには、最終年度の報告書作成に向けて、若手研究者とともに、大江匡房主要作品の註釈を進め、順次学会な

どで発表した上で、論文・註釈として公刊していききたい。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計4件)

1 吉原浩人「大江匡房『白河院金字一切経供養願文』訳註」『2008年国際シンポジウム報告書 仏教声楽に聴く漢字音 梵唄に古韻を探る』 pp132-147 二松学舎大学21世紀COEプログラム 2009 査読無

2 吉原浩人「慶滋保胤「何处堪避暑」詩序訳註 白居易詩文撮取の方法(一)」『日本思想文化研究』第2巻第1号 pp1-18 2009 査読有

3 吉原浩人「慶滋保胤勸学会詩序考 白居易との関連を中心に」吉原浩人・王勇編『海を渡る天台文化』 勉誠出版 pp251-280 2008 査読無

4 吉原浩人「寺社縁起としての『北野天神縁起』」竹居明男編『北野天神縁起を読む』吉川弘文館 pp108-125 2008 査読無

〔学会発表〕(計7件)

1 吉原浩人「六朝隋唐時期江浙海域の霊像漂流伝説」「舟山普陀与東亜海域の文化交流」国際学術研討会 於中国寧波市寧波大学賓館興昌大酒店 2009.1.10

2 吉原浩人「平安朝文人貴族的信仰と白居易」清華東亜文化講座二〇〇八年十一月特別講座 於中国北京市清華大学甲所 2008.11.29

3 吉原浩人「絵画にみる善光寺金堂建築の変遷と祈りの空間」日本民俗建築学会第十四回シンポジウム「詣の中心と周辺/善光寺寺院・宿坊群・仲見世・門前からなる歴史的宗教都市の形成とまちのありかたを考える」於善光寺事務局講堂 2008.10.13

4 吉原浩人「吉祥院をめぐる宗教と文学 菅原道真の願文と聖廟の詩宴」ヨーロッパ日本研究協会(EAJS)総会 於イタリアレッチェ市サレント大学 2008.9.22

5 吉原浩人「中国の「神道」から日本の「神道」へ」東アジア宗教文化学会創立記念国際学術大会 於韓国釜山市東義大学校国際館 2008.8.2

6 吉原浩人「裔然入宋時の詩序と願文 慶滋保胤の餞別と母のための逆修」「東アジア文化交流 人物往来」国際シンポジウム 於中国杭州市杭州湾大酒店 2008.7.27

7 吉原浩人「「神道」と「神仏習合」の概念をめぐって 研究の現状と展望」中国社会科学院日本研究所・浙江工商大学日本

文化研究所共同主催第二回中国大学教員「日本歴史文化」高級講習会 於中国杭州市杭州湾大酒店 2008.7.24

〔図書〕(計2件)

1 吉原浩人編『古鈔本『江都督納言願文集』』二松学舎大学21世紀COEプログラム 2009 全77頁

2 吉原浩人・王勇編『海を渡る天台文化』勉誠出版 2008 全444頁